

# 樟彩

～ 岩田学園だより 2025年1月号 ～



目次	p
校長より	1
共通テスト壮行式・出発式	2
後期フレゼン大会	2
保健室より	2
部活動結果報告	3
APUコース生異文化交流	3
年末・年始恒例のOB・OG戦	4
卒業生によるバトンルー	4
R7年度岩田中学校入試	5
表彰等	5

## 3学期始業式の式辞より

校長 児玉 洋司

昨年の1月1日、石川県能登地方で発生したマグニチュード7.6の地震、『令和6年能登半島地震』によって、多くの方々が被害を受けました。

私たちがこのように、新たな学期の始まりを迎える喜びと同時に、被災された方々が現在もまだ厳しい状況に直面していることは、胸を痛めるものです。1年経って、私たちは忘れてはいけません。この地震により、生活の基盤が揺れ動き、多くの人々が大切なものを失ってしまい、その痛みと悲しみが現在も続いています。亡くなられた方々のご冥福と、被災地の方々の普段の生活への戻りが、一日でも早く訪れることを心よりお祈り申し上げます。

さて、本日より最終学期が始まります。あつという間の冬休みだったと思います。年末年始は特に時の流れの速さを感じるものです。この3学期もまた、学園生活が慌ただしく過ぎていくでしょう。中学卒業、高校卒業や大学進学はあつという間にやってきます。もし、時の流れに不安を感じる際は心の持ち様を大切にしましょう。時に心の持ち様ひとつで、成果があらわれ、人生は変わります。

その際、2つの重要な考え方をアドバイスします。1つめは、『不安や悩みは誰にでも訪れるもの。成長に必要な糧、燃料となるんだ』と受け止めること。2つめは『うまくいかないときに悲観せず、人生これからだ』と前を向く考え方を大切にすることです。

さあ、2025年が始まりました。『今の努力は輝ける未来への贈り物』です。不安ウェルカム、元気を出して取り組みましょう。以上、式辞とします。

Your efforts now are a gift to your future self.  
今の努力は未来への贈り物です。

### 【ご家族の皆さまへ】

私たちは、古き良き岩田らしさが涵養していくような学校づくりに向かって突き進む所存です。そして、岩田英二先生の魂、そして同窓生の志を胸に刻み、職員一丸となって学園発展のため一層努力してまいります。どうぞ、今後ともご家庭と学校が、お子さまが未来に進むための両輪となりますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



### 真剣勝負

人生は真剣勝負である

だからどんな小さいことにでも生命をかけて真剣にやらねばならない。

もちろん窮屈になる必要は少しもない。

しかし、失敗することもあるなどと、呑気に構えてもいけない。

真剣になるかならないか、その度合いによってその人の人生は決まる。

大切な一生である。尊い一生である。今からでも決して遅くはない。

毎日を真剣勝負で生きていこう。



<壮行式>

共通テスト前日（1月17日）、大講義室にて壮行式が行われました。式では、児玉校長から「不安は成功への燃料。不安ウェルカム！」という力強いメッセージを含む、技術的な心の持ちようについての助言がありました。続いて、生徒代表の遠藤千裕さんが決意表明を行い、37回生の結束が一層深まりました。その後、中川進路指導主任から受験に関する注意事項の確認が行われ、篠原学年主任からは「根拠のある自信と、時には根拠のない自信を持ちながら、受験を楽しもう」との励ましの言葉が述べられました。37回生らしい前向きな壮行式となりました。

今年も卒業生の皆さまから激励品をいただきました。ありがとうございます！

<出発式>

共通テスト当日（1月18日）の朝、今年の試験会場は例年とは異なり別府大学となったため、少し早い出発となりました。それにもかかわらず、多くの保護者や在校生が早朝から駆けつけてくださり、盛大な出発式が執り行われました。

在校生応援団による迫力ある演舞、生徒会による力強い書道パフォーマンス、そして生徒会長から心こもった熱い応援メッセージと、心に響く催しが続きました。参加した生徒・保護者・職員全員が一体となり、37回生にエールを送りました。

壮行式（前日）の様子



出発式（当日朝）の様子



～後期プレゼン大会実施～

APU講座担当 加藤 司

1月22日（水）に本校の大講義室において、APU講座後期プレゼンテーション大会が行われました。高校3年生もオーディエンスとして参加する中、高校1年生と2年生がそれぞれのテーマに沿って、グループ毎にプレゼンを行いました。高校1年生は大学の学部・学科を新設するとしたら、というテーマのもと、日本や世界が抱える諸問題を見据えたユニークな視点を多分に含んだ発表となりました。高校2年生は現代社会に必要な新しい法律を作るとしたら、というテーマのもと、APU講座の2年間の集大成にふさわしい、質の高いプレゼンを繰り上げました。学年を問わず、前期プレゼン大会と比較しても見応えのあるプレゼンが多く、全体的なスキルの成長を感じられました。大会の開催にご尽力いただいた関係の先生方、そして、コース生をここまでご指導いただいたTAの皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

〔最優秀賞〕

高1 グループC 「にほんのいっぽんばしら」  
（高見、中井、水田）

高2 グループE 「いのちの選択」  
（徐、荒木、上野、高橋明、高橋莉、田尻）



～保健室より～

養護教諭 野村 めぐみ

献血呼びかけ活動に参加しました！

12/21～12/22の2日間、4年生・5年生の保健委員・希望者が「日本赤十字社大分県支部 献血呼びかけ活動」に参加しました。寒い中、大きな声で献血の呼びかけお疲れ様でした。

大分県では1月22日現在、400mL献血において、2,090人分の血液を必要としている一方、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの流行拡大により、献血にご協力いただける方が減少傾向にあるそうです。ご家族やご友人の方への呼びかけを行っていただければ幸いです。



## ～部活動等結果報告～

### 【中学サッカー部】

中学サッカー選手権大会予選リーグ  
1/11 (土)

岩田 0 - 0 日田三隈 岩田 0 - 4 植田南

テストの次の日に2試合という過酷なスケジュールの中、生徒たちは本当に良く戦ってくれました。対戦相手よりも人数が少なく、交代もできない状況の中で、相手のパスをインターセプトし、カウンターを仕掛けてシュートチャンスを作り出す。という戦い方で、格上の植田南とも途中までは互角に戦っていました。「あのシュートが入っていたら・・・」を次にはしっかりと決められるように、日々の練習からまた頑張ってもらいたいです。試合当日はとても寒い中、生徒の送迎と応援に足を運んでくださった保護者の皆様、誠にありがとうございました。

(顧問 野村 哲也)

### 【バスケットボール部 (男子)】

令和6年度 大分県高等学校新人バスケットボール大会  
1/11 (土)

1回戦 岩田 37-105 中津南

実力考査直後、ケガ人・病人などがあり、交代なしの5人での過酷な戦いとなりました。最初は強いDFの圧力に対応できず、消極的な凡ミスをくり返しました。少しずつ対応し、積極的なプレーからのミスへ変わっていきました。足が痙攣そうになりながらも最後まで諦めずに走りきり、随所に良いプレーがみられました。結果は完敗。悔しさを忘れずに日々の練習でレベルUPすることを期待しています。保護者の方々の応援・サポートに感謝致します。

2024年度全九州中学生バスケットボール選手権予選  
1/19 (日)

1回戦 岩田 30-53 日出

昨年10月の新人戦1回戦で60点差で負けた相手との再戦。試合前の良い準備から集中して試合に臨むことが出来ました。確認してきたDFとリバウンドを徹底し、互角の戦いが出来ました。前半終わりにプレーが雑になり、ミスを重ね点差が開きましたが、後半から再び集中。互いに声かけあい、最後までくらいついていきました。差はつきましたが、一人ひとりの成長・チームとしての成長がみられたナイスゲームでした。保護者の方々の応援・サポートに感謝致します。

(顧問 野田 大樹)

### 【バスケ部 (女子)】

令和6年度 大分県高等学校新人バスケットボール大会  
1/11 (土)・1/12 (日)

1回戦 岩田 61 - 50 大分西

2回戦 岩田 14 - 224 大分

大会初戦は大分西高校との対戦でした。試合序盤から選手たちはオフェンス・ディフェンスともに粘り強くプレーし、リードを保ちながら試合を進めました。しかし、中盤には相手の追い上げにより1桁差に詰められ、一時は逆転の危機に陥る場面もありました。それでも最後まで集中を切らさず、果敢に挑んだ結果、勝利を掴むことができました。

翌日の2回戦は、今大会の優勝校である大分高校との試合でした。強力なオールコートディフェンスにより、なかなか攻撃のチャンスを作ることができませんでしたが、それでも選手たちは諦めずに果敢に立ち向かい、ボールをつないでシュートまでつなげる場面も見られました。結果としては大きな点差となりましたが、1回戦を勝ち上がらなければ経験することができなかった貴重な試合でした。この経験を次の練習や試合に活かし、さらなる成長を期待しています。保護者の方々におかれましては、日頃のサポートに加え、大会当日も応援いただき心より感謝申し上げます。

2024年度全九州中学生バスケットボール選手権予選  
1/19 (日)

1回戦 岩田 12 - 110 中津

体調不良等で人数がそろわず、前2大会を棄権したため、今大会が中学生にとっては初めての公式戦となりました。初戦は1回戦を勝ち上がった中津との1戦。体力、スピード、技術の全てにおいて相手チームが上回り、思うようなプレーをさせてもらえませんでした。それでもチームで目標を定め、厳しいDFの中でボールを繋ぎシュートを決めることができました。結果として大差をつけられての敗戦となりましたが、この経験を糧に日々の練習をさらに強化し、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

応援・サポートしていただいた保護者の方々に心より感謝申し上げます。

(顧問 牧野 佳太)

## ～異文化交流を実施！～

## APUコース主任 牧野 佳太

中国の上海にある、文来高校の生徒・教職員みなさんが修学旅行で来校し、APUコース生と交流しました。交流会では、本校生徒からの歓迎スピーチがあり、文来高校代表の方からもスピーチを頂きました。両校生徒による学校紹介等のプレゼンも行われました。また「池坊華道」の先生に指導を受けながら、両校生徒が協同で生け花を作成しました。(本校では美術の授業での生け花や、希望者による季節ごとの生け花を実施しています。)

両校生徒とも、とても上手に作品を完成させました。文来高校の生徒の一人は、中国で「池坊華道」を学んでおり、日本で池坊の先生から直接指導していただいたことに感動していました。

文来高校の生徒は、交流後すぐ飛行機に乗るため、作品は各自が写真におさめ、思い出を持ち帰りました。現在校内には美しい生け花が飾られています。

APUコース生は英語での司会進行、おもてなし、片付け作業など積極的に活動してくれました。





## ～OB・OG戦を行いました！～

### テニス部

12/30(月)にテニス部のOBOG戦を行いました。現役部員は14人、OBOGは23人が参加してくれたので、今回は最大で37人がコートに集まってくれました。最初に全員で一緒に練習したあと、現役部員と卒業生のミックスダブルス、最後は現役vs卒業生のダブルスをして楽しくテニスをしました。卒業生が一番上は22回生から、23回生・27回生・29回生・30回生・33回生・34回生・35回生、そして36回生が駆けつけてくれました。また、マネージャーの高橋さんもこの日で部活を引退しました。参加してくれたたくさんの方々、ありがとうございました。毎年12/30にコートでお待ちしています。

(顧問 川元 威彦)

### バスケットボール部

12/28(土)に2024年のバスケ納め、OB・OG戦を開催しました。16回生～36回生までの23名のOB・OGが参加してくれました。OB・OGを含めた部員皆で交流戦を行い、バスケを楽しみました。高校男子vsOB戦は、OBが熟練の(?)技術で勝利。高校女子vsOG戦は、運動量で現役が勝利しました。試合後は、1年間お世話になった体育館・更衣室・部室などの清掃を行い、1年の活動を締めました。長期の休みになると、大分に帰ってきたOB・OGが練習に顔を出してくれ、現役選手達の相手、指導をしてくれます。とてもありがたいことです。子どもを連れてくるOB・OGが増えてきたことも嬉しいことです。これからも応援したい、サポートしたいと思って貰えるような部であり続けます。

(顧問 野田 大樹)

### サッカー部

毎年恒例の「サッカー部初蹴り」。昨年から1/3を1/2に繰り上げて実施。今年もたくさんの卒業生たちが顔を見せて来てくれました。一番上は7回生でもう40代後半・・・男女ともに現役vs卒業生の試合を時間いっぱい繰り返しました。ここ数年は卒業生の力に現役たちが圧倒されている感じです。現役サッカー部はもっと頑張らなければいけません。参加してくれた卒業生の皆様、ありがとうございました。

(顧問 野村 哲也)



## ～卒業生によるバトンルー～

今年度、オンラインを中心に行ってきた卒業生による「君たちはどう生きるか？」イベントを、対面で行うことが決定しました。どちらのイベントも保護者の方の参加が可能(一部制限あり)なので、ご興味ある方はご予約ください。詳しくは2月の学園だよりでお知らせします。

また、この活動を積極的に行っている13回生平尾彰浩さんと19回生藤沢尚慶さんがメンタリングを行ってくれます。お二人とも少しでも後輩のお役に立てればと色々考えてくれます。希望がある方は、職員室の堀まで申し出てください。

3月18日(火)午後  
32回生 安藤莉沙さん  
(東京藝術大学4年生)  
対象：中学生  
場所：体育館  
内容：日本舞踊披露

3月22日(土)2～3限  
16回生 小澤廣記さん  
(東京大学医学部卒業/  
聖路加国際病院勤務)  
対象：高1・2医進クラス  
場所：大講義室  
内容：講演・ワークショップ

## 総務主任 堀 寿瑞代

卒業生に相談して  
未来の自分を  
一緒に見つけよう！

- 苦手科目の克服法
- 大学の選び方
- 部活や学校生活のモヤモヤ
- 理系文系進路の悩み
- 将来の仕事
- 人間関係の悩み

経歴家として活躍中！  
平尾 彰浩 13回生  
藤沢 尚慶 19回生

医療業界で働く卒業生！  
平尾 彰浩 13回生  
藤沢 尚慶 19回生

経歴：東京芸術大学、慶応義塾大学大学院  
経歴：東京芸術大学、慶応義塾大学大学院  
経歴：富士フィルムメディカルGEヘルスケア・ジャパン、アイリックス・ジャパン Surg storage (経歴)  
経歴：テルモ 福化成メディカル  
学生時代：学生 サッカー部 美化委員 応援団

社会で活躍する先輩があなたをサポート！  
まずは気軽に相談から！

個別相談希望の方は、堀寿瑞代先生にご連絡ください。

## ～令和7年度岩田中学校入試について～

事務局長 末松 茂

昨年度の中学入試は他校の入試日との兼ね合いもあり1月3日の実施となりましたため、何となく慌ただしい感じがしました。今年度は例年通りの1月4日に戻り、据わりが良いというか落ち着いた入試日となりました。

岩田中学校入学試験志願者数は250名で、昨年の志願者数291名より41名の減少となりました。志願者数の推移を見ますと、令和4年度が251名、令和5年度が245名で、入試日の変更のあった昨年度が291名と急増しました。都市部では私立中学校の入試日が変更すると、志願者が大きく動くといいますが、昨年度の大分はそういう状況にあったようです。入試日が元に戻ったことで、志願者数も250名程度になったと推測されます。

合格者数は180名でした。例年の合格者数が210名前後でしたので、合格ラインはやや高めとなりました。合格者の平均点は表の通りです。近年の出題傾向は、大学共通テストを意識して、知識だけでなく、思考力や判断力、表現力等も測ることを念頭に、合格者の平均点の目安を60%として出題していましたが、国語で点数が伸びましたので63%となりました。合格者の平均点は188.8点(63%)で、昨年度の165.0点(55%)を23.8点上回ることとなりました。合格者の最低点は、149点で、昨年度の140点より9点上がりました。

岩田高等学校APU・立命館コースの入学試験は、昨年の11月5日(火)の帰国子女入試からスタートしており、既にバン

コク日本人学校からの帰国子女生1名の入学が決まっています。海外子女教育振興財団の主催するバンコクを含んだ東南アジアの日本人学校での説明会に参加して本校のことを知り、受験されたようです。

1月21日(火)には、推薦入試を実施しました。高校の出題スタイルも、読解力や表現力を求めるようにしています。コース設置の主旨から、語学だけでなく総合力を見る3教科(英・数・国)入試を実施しています。全教科とも想定していたラインをクリアしており、良く学習できているという感想を持ちました。推薦入試で、13名の合格者を出しています。高校入試は、今後、2月6日(木)の一般・前期入試と、3月20日(木)の一般・後期入試と続きます。

### 【令和7年度 中学入試結果】

◎志願者数・合格者数

志願者数 250名 合格者数 180名

◎中学入試 合格者教科別平均点

国語 70.1点  
算数 57.3点  
理科 32.2点  
社会 29.1点  
総点平均 188.8点  
合格者最低点 149点



第42回全日本空手道選手権大会 CHAMPION CLASS 中学3年男子 重量級60kg以上  
第3位 3-2 平川晃生

第24回日本情報オリンピック  
敢闘賞 5-3 矢田悠人  
4-1 田中公也

令和6年度「自転車が似合うまち おおいた」標語コンクール中学生の部  
最優秀賞 2-2 月村天紀

第12回高校生ビジネスグランプリ  
「高校生ビジネスプラン・ベスト100」 5-2 川越るり



### 2月の行事予定

2/1(土) 休業日  
2/3(月) 職員会議  
6年IWATA仮卒  
6年APU時間割変更  
5年APU休業日  
2/4(火)~2/11(火) 5年APU修学旅行  
2/12(水)~2/13(木) 5年APU休業日  
2/13(木) 4-2 医療関係施設見学  
生け花教室  
2/14(金) 月曜授業実施  
2/15(土) 高校入学登校日  
2/17(月) 生徒総会(6限)  
2/22(土) 休業日  
2/23(日) 天皇誕生日  
2/24(月) 振替休日  
2/25(火) 国公立大学前期試験  
2/27(木) APU卒論発表会(大講義室)  
2/28(金) 高校卒業式予定



〒870-0936

大分市岩田町1-1-1  
学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

HP <https://www.iwata.ed.jp>

現在フォロワー数1593名!  
日々岩田学園より発信しています!



Instagram



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校